

論点①

地方大学が「地方創生に資する」ことについて、地方大学が地方創生や地域の活性化にどのようなインパクトを与え得るのかも含め、考え方を整理してはどうか。なお、これまでの議論においては、「地元若者を定着させる」「産業振興に寄与する」という方向性が示されている。

論点②

このタイミングで本検討会議における議論を進める意義を高めるためにも、コロナ禍を受けての急激なオンライン化による地方大学の持つ可能性の広がりなど、ポストコロナ時代に向けた大学や社会の変化を意識した議論を行ってはどうか。

論点③

地方大学が目指すべき方向性については、概ねこれまでの議論で整理されてきているが、これを実現するための方策（とくに、新学部設置等を含めた新たな動きを大学全体に波及させる方策）について、より議論を深めてはどうか。【参考：片峰委員提出資料】

論点④

地域における連携を推進するための、より具体的な方策を挙げられないか。たとえば、第3回の議論において、好事例から学ぶべき点は一定程度抽出されたが、「連携が進まない要因」を挙げ、それらの課題を解決するための方策等を検討してはどうか。

論点⑤

地方国立大学の定員増も含め、今後国として支援する対象やその在り方について、より具体的な考え方を示してはどうか。【参考：宮崎委員提出資料】